



# とやま親学び 通信

平成29年6月28日発行  
富山県教育委員会 生涯学習・文化財室

「とやま親学び 推進リーダー等研修会」  
開催日：6/17(土)、6/25(日)  
参加者：のべ116名(自主参加33名を含む)

使用エピソード：「リフレッシュどうしてる？」  
親学びノート(乳幼児編) P13

## 主な意見

- ・働きたいと言っているが、本音は違うと思う。
  - ・相談しているのに、スマホ見ているなんて許せない。
  - ・何気ない話から感謝を伝えたり、思いを聞いたりすることが大切。
- このエピソードは、家族間のコミュニケーションについて考えることができそうです。小中学校での親学び講座でも使えそうです。

## エピソード

### リフレッシュどうしてる？ ストレスの軽減



このところ香織さんは、夕方からイライラするのが増みでしたが、今夜は久しぶりにOL時代の友達との食事会でした。幼稚園のあやちゃんも、今日だけ預かり保育。お迎えは、夫の直樹さんに頼みました。食事会では、友達から、子育てしながらも会社に復帰した話をはじめ、ジムに通ったり、レクリエーションに参加したりして、充実した時間を過ごしていることを聞いてきました。

香織さんは、直樹さんに思い切って話しはじめました。  
「私、働くわ。毎日、家のことをしているだけだと、息が詰まってしまうし…」  
直樹さんは、香織さんの方を見ずに、「ふーん、香織の好きにしたらいいよ。」と、気のない返事をしました。香織さんは、ぐっと涙をこらえました。

に参加したりして、充実した時間を過ごしていることを聞いてきました。  
香織さんは、直樹さんに思い切って話しはじめました。  
「私、働くわ。毎日、家のことをしているだけだと、息が詰まってしまうし…」  
直樹さんは、香織さんの方を見ずに、「ふーん、香織の好きにしたらいいよ。」と、気のない返事をしました。香織さんは、ぐっと涙をこらえました。

## 「親学び講座」で使えそうなアイデアを共有しましょう

4会場それぞれで、講師をつとめてくださったスーパーリーダーや参加者から親学び講座を進める上でのアイデアが紹介されました。素敵なアイデアをこの紙面を通して共有しましょう。

### ①参加したくなる講座名

気軽に参加してもらえようオリジナルの名称をつけてもよいです。

- ・「子育てほっとサロン」
- ・「子育て学び合いルーム」
- ・「親学びカフェ」等

おやつをつまみながらというのもよいのではないのでしょうか。



### ②楽しくグループをつくる

グループは、事前に決めておくのもよいですが、その場でグループをつくることもできます。

#### 【手軽に】

部屋の壁際に一列に並んでもらいます。4班をつくりたいときは、1、2、3、4、1、2、3、4…とってもらい、同じ数字を言った人で同じグループになってもらいます。

#### 【ゲームを通して】

動き回るスペースがあるときは、音の数と同じ人数で集まるゲームをします。例えば「ねこ」と言ったら2人で集まります。2人、5人、8人…とゲームを進め、作りたいグループに合う人数になったところで「このメンバーが今日のグループです」と伝えます。



### ③心をやわらかくするアイスブレイク



初対面の方との距離を縮めるには、アイスブレイクが効果的です。

「キャッチ」は、みんなで円になって、右手は輪をつくり、左手は人差し指を伸ばして、隣の人右手の輪の中に入れます。進行役が「キャ、キャ、キャ、キャ、キャ…キャッチ」と言ったら、左手で隣の人の人差し指をキャッチします。何度か繰り返した後、左右を入れ替えるだけで、盛り上がります。

#### ④プラスαの自己紹介

プラスαの効果を期待した自己紹介もあります。

##### 【名前を覚える】

「となりのとなり」は、二人目からは「〇〇さんの隣の△△です」「〇〇さんの隣の△△さんの隣の□□です」と続けます。

##### 【その人らしさを感じる】

名前だけでなく「マイブームを紹介する」を取り入れます。「マイブームを3つ」とすれば、意外な趣味も出てきます。



#### ⑤たっぷりと話せるグループワーク



講座の設定時間や参加者の状況によって、グループワークの進め方を示します。

時間が少ない時は、プログラムにある設問の中から選びます。全員が話し合いに参加できるようにするには、記録者を決めずに進めてもらいます。記録者なしで、考えを自分で付箋に書いて、大きな紙に貼りながら話し合いをするという方法もあります。

##### 【グループワークを始める前に伝えるとよいこと】

- 「子育てに正解はない」
- 「みんな悩みながら日々過ごしている」
- 「人の考えや日頃の様子を聞き合うことが目的」
- 「人の考えを否定せずに聞く」

#### ⑥グループ発表は強制しない

「発表が苦手」「発表係になると楽しめない」などの理由から、グループ発表があるのなら親学び講座は参加したくないという声があがることがあります。

発表係を決めずに、「話したい人に話してもらおう」「2、3人だけ話してもらおう」という方法もあります。発表を省いてグループワークに時間をかけるのも一つのやり方です。



#### ⑦自分にできるまとめで、十分

親学びは、グループワークが中心なので、さらっと「グループで話をしてどうでしたか」「いろんな意見を聞くことができましたね」という感じで終わります。

終わりに何か言いたい場合は、インターネットで「子育て 格言」で検索します。例えば、「〇は〇の鏡」と書いたカードを1枚用意するだけで、参加者に共感してもらえます。また、乳児の写真や動画を使えば、自分の子供が生まれたころのことを思い出してもらうことができます。

#### ⑧エピソードは、どれがいい?

エピソードは、学校の先生方やPTA役員の意見を聞いて選びます。古いエピソードにもいいものがあり、

- 「11 健太君とお父さん」
- 「12 参観日の母親の姿」
- 「16 由香のお手伝い」
- 「26 学校はどこまで対応できるでしょう」
- 「18 智也の通学」
- 「19 夕食時の携帯電話」
- 「36 あなたの家の朝のあいさつは?」等が、おすすめです。

オリジナルのエピソードを作ったり、エピソードを使わずグループでテーマを選んでもらったりしてもできます。